

2023年度事業報告

I. はじめに

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会・経済活動、日常生活が徐々に平常に戻りつつある中、おおむね計画どおり、各種業務を執行することができ、VICS サービスについて安定的な提供を行うことができた。

VICS 対応車載機の出荷台数は、その戻りつつある経済のなか、約358万台（対前年度比101%）となった。

「経常収益」は当初予算より約1.1億円増の約45.4億円を確保、一方「経常費用」は、コスト縮減や執行の見直し等により当初予算より約3.3億円減の約43.7億円に抑えることができ、「当期一般正味財産」は、当初予算より約4.4億円の改善ができ、結果、約1.7億円の増と、3年ぶりに増加となった。

ただ今後は、急激な円安、エネルギー資源の価格高騰等による経済活動、日常生活への影響やモビリティおよびVICSを取り巻く事業環境の変化についても注視していく必要がある。

II. VICS 中期ビジョン 2023 のフォローアップ

当面の経営・事業の指針として策定した「VICS 中期ビジョン 2023」の「より正確に、より安定的に、より多様に多彩に」を方針に、センター内でビジョンWGを立上げ、取組みの具体化を進めた。

III. 「業務見直し」の推進

より強い経営基盤を目指して、VICS 業務全般の業務見直しを昨年度より実施している。今年度は民間プローブへの置き換えによるタクシープローブの廃止やVICS放送局の再免許一斉更新での作業フロー見直しや電子申請の実施など、大小19項目を抽出し、見直しを実施した。

IV. 事業執行状況

（1）現行サービスの継続・拡充と新たなサービスの検討

①プローブ情報総合化実証実験の継続と拡充

2022年7月に全国展開したプローブ情報総合化実証実験においては、渋滞判定パラメータの適正化により、路線での渋滞未検知を大幅に削減するとともに、警察庁や道路管理者と共同で、プローブ情報の有効性の検証を行った。

実証実験の本格運用移行に向けた各種要件を整理し、基本方針を策定した。

また、警察庁が実施する「今後の交通管制の在り方に関する調査研究」における、民間プローブ情報を活用した信号制御に関する実証実験に対して、データ提供を行った。

②新たなサービスの拡大

2021年12月から新潟県で開始した大雪時通行規制情報等の配信（ポップアップ表示）について、北陸・近畿地域に続き、九州地域、関東甲信地域に拡大した。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、全国的に各種イベントが再開されたことも相まって、新たな臨時駐車場情報に対する情報提供や大規模イベント開催時における「イベント及び規制のう回エリア情報表示サービス」が全国各地に拡大した。

③FM 情報量増加への対応

プローブ総合化実証実験や災害時の事象規制情報提供などで提供情報量の増加に対し、放送局ごとの送出情報量の検証及び適正化を行った。

（2）センター及び放送所システムの効率化・高度化

①システム 2.0 の開発・安定稼働

システム 2.0 関連の安定稼働確保を目指し、センターシステム OS へのセキュリティパッチ適用と監視カメラ導入等による操作監視システムを構築し、セキュリティの強化を図るとともに、次期受信モニターの設計及び全国配備に向けた更新準備やセンター～放送所間のネットワークの整備を実施することで、放送所設備の強靱化に取り組んだ。

②セキュリティ・災害対応力等の強化

京橋センターから大阪第二システムセンターへの切替え運用を想定した JARTIC との合同災害対策訓練や NHK と連携した京橋センターと VICS 墨田放送所（スカイツリー）での障害発生を想定した訓練を継続実施するとともに、外部からのウィルス侵入を想定したサイバーセキュリティ訓練を実施し、大規模災害時やサイバー事案発生時の対応力強化を図った。

③放送事業者の再免許対応

法令上で5年毎に義務付けられる放送事業者の再免許対応年度にあたり、作業フローの見直しと電子申請・電子納付を行い、大幅な経費および資源の削減を実現しつつ、予定通り全国521か所の VICS 放送局の再免許一斉更新を完了した。

（3）新たなニーズへの適切な対応

Web ユーザー調査では、渋滞情報に対する精度向上や提供範囲の拡大を望む声が変わらず上位であることを確認した。

2030年に向けた VICS に関連する製品やサービスの動向として、車載のカーナビ、ディスプレイオーディオの標準装備化やメーカーオプション化の拡大が見込まれることによりアフターマーケットの縮小が想定されることやコネクテッドカーサービスのための車載通信機の採用が拡大し、それに伴ってコネクテッドナビも拡大していく見込みであることを把握した。

(4) 継続施策の改善・進化

① 広報・普及促進活動の一層の推進

VICS の活動をより多くの方に正しく知ってもらうべく、ジャパンモビリティショーや ITS 世界会議（蘇州）に出展した。ジャパンモビリティショーにおいては、東京、大阪、名古屋の3か所に出展し、多くの方に来場いただき、認知度向上や期待感を醸成することができた。

ステークホルダー向けの情報発信（情報公開）として、機関誌 VICS NEWS の発行を継続するとともに、ユーザーの声の収集を通じて、サービスの改善や経営の強化につなげた。

② 業務管理等

OA システムセキュリティ適正化に向けソフトウェアのバージョンチェックとアップデートを実施した。また、テレワーク環境の向上のために、在宅勤務時の勤怠管理ワークフローを導入し、業務の効率化、ワークライフバランスに配慮した働き方改革を進めた。

インボイス制度（消費税法）や電子帳簿保存法に対して、着実に実務対応した。

昨今、コンプライアンス遵守の重要性は益々増加しており、VICS センターが事業活動を行うに当たって、行動の基本となるコンプライアンス規程を制定するとともに、内部通報（ヘルプライン）窓口及び万一センター内で不正・違反行為が発生した場合にも、早期に発見するとともに事実調査から是正・改善措置を行える体制を整備した。

V. 事業計画執行のための会議の開催

(1) 理事会

① 2023年 5月26日 2023年度第1回理事会

第1号議案 令和4年度事業報告(案)並びに令和4年度計算書類等(案)承認の件

第2号議案 評議員候補者6名推薦の件

第3号議案 評議員候補者1名推薦の件

第4号議案 2023年度定時評議員会招集の件

第5号議案 役員等賠償責任保険の契約内容につき承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

② 2023年11月17日 2023年度第2回理事会

第1号議案 2023年度臨時評議員会招集の件

第2号議案 事務局長任命の件

第3号議案 評議員選定委員1名選任の件

第4号議案 2023年度補正収支予算書(案)承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

③ 2024年 3月14日 2023年度第3回理事会

第1号議案 2024年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)承認の件

第2号議案 コンプライアンス規程制定につき承認の件

第3号議案 内部通報(ヘルプライン)規程制定につき承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 令和6年能登半島地震に伴う放送設備の被害および復旧状況
災害に対応した情報提供について

(2) 評議員会

① 2023年 6月15日 2023年度定時評議員会

第1号議案 令和4年度計算書類等(案)の承認の件

第2号議案 理事2名選任の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

② 2023年12月1日 2023年度臨時評議員会

理事2名の選任について評議員全員が同意したため決議の省略により承認された。

(3) 事業報告会

Webで開催。

(4) 事業懇談会

- ① 2023年 5月19日 2023年度第1回
- ② 2023年11月 9日 2023年度第2回
- ③ 2024年 3月 7日 2023年度第3回

(5) 車載機連絡会

- ① 2023年 5月18日 令和5年度第1回 (通算第84回)
- ② 2023年 8月24日 令和5年度第2回 (通算第85回)
- ③ 2023年11月 9日 令和5年度第3回 (通算第86回)
- ④ 2024年 2月22日 令和5年度第4回 (通算第87回)

書面報告